



や、焼津かあ
ああああああああ



善は急げじゃ
皆の衆!!

お問合せ

焼津市 経済部 誘致戦略課 企業誘致担当

〒425-8502 静岡県焼津市本町2丁目16-32 電話:054-626-2260 FAX:054-626-2194 Mail:yuchi@city.yaizu.lg.jp

※本誌表記の内容は2024年4月現在の情報です。

新たなビジネスの戦略拠点に焼津を！

ほお、ここが
焼津かあ。

ここが焼津に
ございます。



静岡県のはば中央、志太平野の南部に位置し、一年を通じて温暖な気候に恵まれた焼津市。市内を走る東名高速道路・国道150号などの主要幹線道路やJR東海道本線、さらに富士山静岡空港にも近く、焼津漁港や大井川港も有する交通面・物流面での利便性のよさ、大井川水系の豊富な地下水など、ビジネスを展開するうえで有利な要素が多数あげられます。市内の大部分が平坦な土地であり、また、地価が安いことから、進出時のコストが抑えられることも、焼津市が選ばれる理由の一つとなっています。

この冊子で紹介するのは、すでに焼津市に拠点を置く企業の皆さまの率直な声。「なぜ進出先として焼津市を選んだのか」「焼津市の拠点でどのような事業を展開しているのか」「焼津市に拠点を置くメリット」などを伺いました。

新たなビジネス拠点の選定に、ぜひ焼津市をご検討ください。

サッポロビール株式会社

代表取締役社長
野瀬裕之氏

大井川水系の良質な水を活用！
サッポロビールの製造&物流拠点!!

星のロゴが目印の大手ビールメーカー、サッポロビール。焼津市にある静岡工場は、同社が全国にもつ五つのビール製造拠点のうち二番目の規模をもつ基幹工場。また、近年力を入れているRTD^注の製造拠点にもなっています。同社における静岡工場の位置づけや焼津との関わりについて、野瀬裕之社長にお話を伺いました。

注 Ready to Drink。
チーハイ、サイナーなど、栓を開けてそのまま飲む低アルコール飲料。

ビールとRTDのハイブリッド工場。

静岡工場は千葉に次ぐ規模のビールの基幹工場で、千葉と静岡で製造量の約6割をまなっています。また、RTDの製造も行っていて、ビールとRTDのハイブリッド工場になります。仙台にRTDの専用工場がありますが、両方を製造しているのは焼津の工場だけです。これからの時代、RTDとよばれる新しい分野の成長が当社の経営にとってすごく大きなポイントになります。その製造拠点であるということ、すごく意味があることです。

あわせて、R&D^注、要するに研究開発ですね。価値創造プロセス研究があり、当社の知の拠点でもあります。製造工程における品質管理、ビール酵母の研究や醸造の過程の基礎的な研究、新商品開発、パッケージの開発などを行っています。あとビールの本工場とは別に少し小さいプラントのミニプラワリー、その拠点でもあって、試験醸造などをしていきます。当社にとって静岡工場はいろんな多面的な役割を担っている拠点ということになりますね。

注 Research & Development



ドドッ

物流インフラの利便性と良質な水。

静岡工場の開設は1980年。国内におけるビールの需要が拡大するなか、関東から近畿エリアにもう一つ工場をというこで、焼津市が選ばれました。

静岡工場は製造拠点でもあり、物流の拠点でもあります。名古屋・関東・近畿エリアをカバーでき、北陸にも出やすい。高速道路も通っていて、物流インフラが整っていることがすごくありがたいポイントだと思っています。

なおかつ、ビールにとっては水が大事。大井川水系の水を今も使っているんですけど、水質がいい、ビール醸造に適した水が使えるということもすごく大事なポイントです。あともう一つ、清水港、国際貿易港ということでも、ビール製造に必要な麦芽やホップは海外から調達してくるものが多いので、この清水港が活用できるというのはポジティブなポイントです。



地元愛から生まれた「静岡麦酒」。

2013年には地域限定ビール「静岡麦酒」を発売しました。「静岡県をいざば愛するビール会社になろう」という強い思いから生まれた商品です。エリア限定ビールを出しているのは、それだけ地元に着目したマーケティングが展開できているということ。業務用の生ビールを中心に展開して10年経過したところですが。

焼津は気候が穏やかで、土地柄も穏やか。食べ物文化も地域性があって、サッポロビールを愛用しているという飲食店さんも多い。お祭りやイベントでビールをご指名いただいたり、ふるさと納税の返礼品として採用いただいたりもしています。地元から応援していただけることは何よりも重要で、本当にありがたいと思っています。



※ 静岡麦酒は、エリア限定販売商品です。

日本ホイスト株式会社

おどろきの工場 工場長
藤原正夫氏

来る人皆に「おどろき」を！
富士を望む最新鋭の大規模クレーン工場！！

日本ホイストは広島県福山市に本社を構えるクレーン・ホイストメーカーの大手。全国各地に拠点を展開するなか、2021年4月、焼津市に「おどろきの工場」を開設しました。訪れる人皆に毎回おどろきがあるように」との思いから名付けられたこの工場を訪ね、藤原正夫工場長にお話を伺いました。



日本の中心の拠点を焼津に。

近年わが社は、地産地消を目指して、広島の本社を含めて各工場から半径250kmの円を描いたときに日本を網羅できるように、全国に拠点の展開を進めています。静岡県は日本の中心で、焼津市は静岡県の中心。焼津には以前から営業所もあり、「焼津で工場の候補地を探そう」というのが社長からの号令でありました。焼津市さんからの提案で現在の土地に決定したのですが、わが社にとってここはメリットの大きい立地でした。

迫力ある富士山が目の前という景色も素晴らしい。市営港湾の大井川港がすぐそば。現状では陸送がメインですが、今後、船を使って運搬することも可能性として考えられます。長さのあるクレーンは陸送だと20mくらいで切らないといけないのですが、船で運ぶ場合、つなぎ目のないクレーンも可能になります。

また、候補地決定の決め手というよりも結果的にですが、他のどの地域よりも安く、広大な土地を取得できたのもよかったですね。

最新鋭の設備を備えた大規模工場。

この「おどろきの工場」はわが社のなかでも、最大級・最新鋭の工場です。コンピュータによる自動制御、ロボットの導入で、省力化を実現しています。ここが稼働してから、1物件260基という大口物件をやり遂げた実績もあります。

ここができる前、大口の物件は10基程度でも出先工場や協力工場で分散して製作していたんですが、振り分けると製品の統一化が難しいんです。数量の多いものを一つの工場で作

作し、品質の統一ができるのは大きな利点ですね。近年、大型クレーンの受注が増えています。このおどろきの工場ならそれに対応する生産能力があります。現在、大型の製品は中国の拠点でも製造していますが、国内生産を求める声もあり、それにも応えられます。

また、広大な土地を取得できたので、まだまだ拡張の余地があります。現在工場の長さは200mありますが、さらに100m延長することが決定しています。日本一のクレーン・ホイストメーカーの工場になるのではないかと思います。あと必要になるのは技術と経験を積んで育てていくってほしいと思っています。

自治体からの様々なサポート。

土地の取得や設備投資に、焼津市や静岡県から補助金をいただきました。また、近くに大井川港管理事務所があり、いろいろ細かく気にかけていただいています。大雨の際には土壌の手配など、迅速なサポートをしていただき助かりました。



いであ株式会社



執行役員
環境創造研究所 所長代理
大西悠太氏

取締役副社長
環境創造研究所 所長
森下哲氏

環境創造研究所 顧問
菅木洋一氏

最大の利点は
海水と豊富な地下水
調査研究に適した好環境!!

気象予報会社としてスタートし70周年を迎えた、社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント。焼津市にある「環境創造研究所」は、生物・化学分野の調査研究に関する技術開発を行う研究拠点として、1992年、大井川港近くに開設されました。2023年には生命科学分野における技術開発の中核拠点として「応用生命科学研究センター」を新設。森下哲所長(以下、森下)、大西悠太所長代理(以下、大西)、菅木洋一顧問(以下、菅木)にお話を伺いました。

暮らしやすく、地域との関係も良好。

森下 実は、焼津に住む研究員も増えてきています。住環境がいいというのは魅力の一つですね。
大西 若い人たちが子育てしやすい環境だと思います。
森下 地元の方々が多く働いていただいています。
大西 約130名の従業員のうち60名くらいは、生き物の飼育やサンプルの前処理などをサポートしていただく地元の方、長く勤めていただいている方も多くいます。
森下 それから施設メンテナンス、電気系統や新しい事業のための改造工事に、地元の企業さんに長くお付き合いいただいています。トラブルがあってもすぐに来ていただける。回りのサポートを受けやすいのもいい環境です。
菅木 地域の方に施設を知っていただく機会として、「なつやすみ」ことも環境監理を実施してきました。コロナで中断していますが、また開催したいと思っています。
森下 焼津市とは災害協定を結び、津波発生時に地域住民の皆さんが避難できるスペースを用意しています。地域の理解も得て、共に歩んでいくことが大事だと思っています。



海水・淡水ともに使える研究拠点。

森下 焼津に拠点を置いた理由は、大きく三つあります。まず、立地条件。交通の利便性もよく、全国に展開している拠点の中間点であること。次に、環境について分析する研究所なので、良好な環境であること。それから、海水と淡水両方を利用できることが重要でした。海水は海から所内に直接導入し、海の生き物を育てて実験に用いています。淡水は大井川の豊かな伏流水があります。
菅木 海水と淡水両方の生き物がひとりで使える場所を探していました。30年前当時港を使う企業を誘致していた大井川町(現焼津市)に相談させていただき、ここに研究所を開設することになりました。
大西 港からの専用管路を道路の下に通して、海水を直接引き込めるようにしていただけたのが大きかったです。

発展性を望める事業環境。

森下 大井川港漁業協同組合の皆さんにも、いろいろな協力いただいています。海水や底泥を取ったり、水の流れを測ったりと、新入社員に環境調査の手法の研修を行う際には、船や場所を貸していただいています。
大西 それから、海で何か起こった際には生き物への影響を調べることもあるんですが、種苗生産をしている浜岡の温水利用研究センターが近く、タイやヒラメなど手に入れにくい生き物を融通してもらえるので助かっています。
菅木 静岡県内の他の公的な研究機関とも連携を取りやすい。それはここに来てから、分かったことです。
森下 良好な事業環境に加えて、ここはビジネスの拡張性が高いと感じています。制約が少なく、新しいことにチャレンジしている自由度が高い印象をずっと持っています。新たに「応用生命科学研究センター」もできましたし、生物・化学分野の研究に、生命科学分野を加えて、新たな発展をしていきたいと思っています。



アステラス製薬株式会社 焼津事業場

最先端技術で
革新的な医薬品を創出。

アステラス製薬は、最先端の科学に基づき、アンメットメディカルニーズ（満たされない医療ニーズ）の高い疾患分野において、未だ治療法のない患者さん、既存の治療法では十分な効果を得られない患者さんのために、革新的な医薬品の創出にグローバルに取り組んでいます。医療用医薬品事業では、研究・開発・生産・販売だけでなく、医療関係者と連携し、市販後の調査や安全性に関する情報収集および提供活動を行うなど、製品ライフサイクル全般で品質の改善・向上に努めています。世界70カ国以上でビジネスを展開し、各国や地域の法令・ガイドライン等の遵守はもとより、全社員が高い倫理観と広い視野を持って事業活動に従事する体制を整えています。

焼津製剤研究センター
焼津技術センター

この焼津の地から、世界中の患者さんに薬が届けられているんじゃないの。

企業活動に適した焼津の環境。

焼津市は、気候が温暖で水源にも恵まれ、年間を通して企業活動がしやすい地域です。たとえば、工事計画への天候による影響を受けにくく、設備の凍結対策も必要最低限で済みます。また、大井川の伏流水を利用することで、取水制限を経験したことはありません。日照時間の長い地域でもあるため、太陽光発電などにも優位かもしれません。さらに在来線や新幹線、東名および新東名高速道路などのアクセス面でも有利な立地です。南海トラフ地震などの災害が予想される区域に含まれていますが、沿岸部の津波対策施設の整備や河川改修などを焼津市は積極的に進めており、また、防災情報も広く情報共有されているため、企業活動を行ううえで、安心安全が配慮されている地域であるといえます。



東洋水産 株式会社

これが噂の…
マルちゃん正麺!!



「マルちゃん」でおなじみの食品会社。

1953年に冷凍マグロの輸出や国内水産物の取扱い事業者として築地市場内で操業を開始。現在は総合食品メーカーとして「マルちゃん」のブランドで親しまれています。1956年より魚肉ハムソーセージなどの加工食品事業を始め、1961年から取り組んでいる国内即席麺事業では、「赤いきつねうどん」「緑のたまごそば」「麺つくり」などのロングセラー商品を生み出したほか、「マルちゃん正麺」「マルちゃんZUBAAN!」などを発売し、麺類市場に新しい風を吹き込みました。

1972年には米国に現地法人マルチャンインクを設立。現在では4カ所に製造拠点を構え、北米のみならず中南米等にも広く供給しています。販売シェア1位の米国・メキシコではブランド強化を継続し、ブラジル・インドでは販売開拓を行うなど、さらなる市場拡大を進めています。

2009年には「Smiles for All」すべては、笑顔のために。」をコーポレートスローガンに制定。やる気・誠意をモットーに、顧客第一主義を掲げ、品質とおいしさにこだわった食品づくりはもとより、持続可能な社会に向けて環境保全や地域社会貢献にも取り組んでいます。

地下水が豊富で
利便性の高い立地。

焼津市は、温暖な気候で、高速道路などインフラの高い利便性があります。そして、何といても豊富で良質な大井川水系の地下水に恵まれており、私たち食品会社には大きなメリットとなっています。

焼津市が選ばれている4つのポイント!!!!

70%安い

40%安い

¥5万/m²

安いから広い土地が
買えそうじゃ!

静岡

焼津

浜松

	地価平均	平均坪単価
静岡市	16万8,670円/㎡	55万7,586円/坪
浜松市	8万2,429円/㎡	27万2,494円/坪
焼津市	5万229円/㎡	16万6,047円/坪

<https://techdata.info/showinfo/>

平坦!!

焼津を進出先として決断する際のポイントの一つとして「平坦な土地であるため、企業進出の際の造成や建設などのインシヤルコストの軽減や従業員の採用に最適」との声をいただいています。焼津市の面積は70.3平方km。南北に細長い形状で、駿河湾を望む15.5kmの海岸線を有しています。北部の山間地を除き、丘一つない平坦な土地で、可住地面積の割合は静岡県内の市の中で1位の94.5%（県平均は35.4%）となっています。

インシヤルコストの軽減や
従業員の採用に最適

バーン

交通網!!

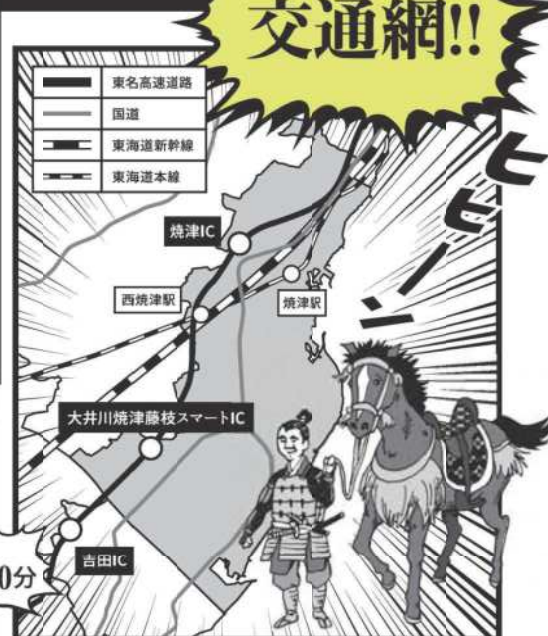
コンパクトな地形で
高い交通利便性をもつ地域

焼津が進出先として選ばれるポイントの一つが「東京と名古屋の間で移動や物流面での利便性が高い」ということ。東名高速道路の焼津IC・大井川焼津藤枝スマートICが市内にあり、新東名高速道路の藤枝岡部ICや富士山静岡空港へのアクセスも良好。さらに、国道150号や主要地方道などの幹線道路、JR東海道本線には焼津と西焼津の2駅、航路では焼津漁港や大井川港など、恵まれた交通・物流インフラが揃っています。

名古屋から車で
約1時間40分



東京から車で
約1時間50分



1,000t/日

豊富な地下水

焼津を進出先として決断する際のポイントの一つとして「豊富な地下水があった」という声をいただいています。大井川の流域に位置する焼津市は地下水に恵まれ、上水道の約85%を地下水でまかなっています。水資源を活用する企業が多数立地していることが、その利便性を証明しているといえます。豊かな地下水だけでなく、温泉や駿河湾深層水も湧き出る焼津市をビジネスの拠点としてみませんか?

新たなビジネスの可能性はココにある！

産業用地可能性検討エリア

和田地域

駿河湾

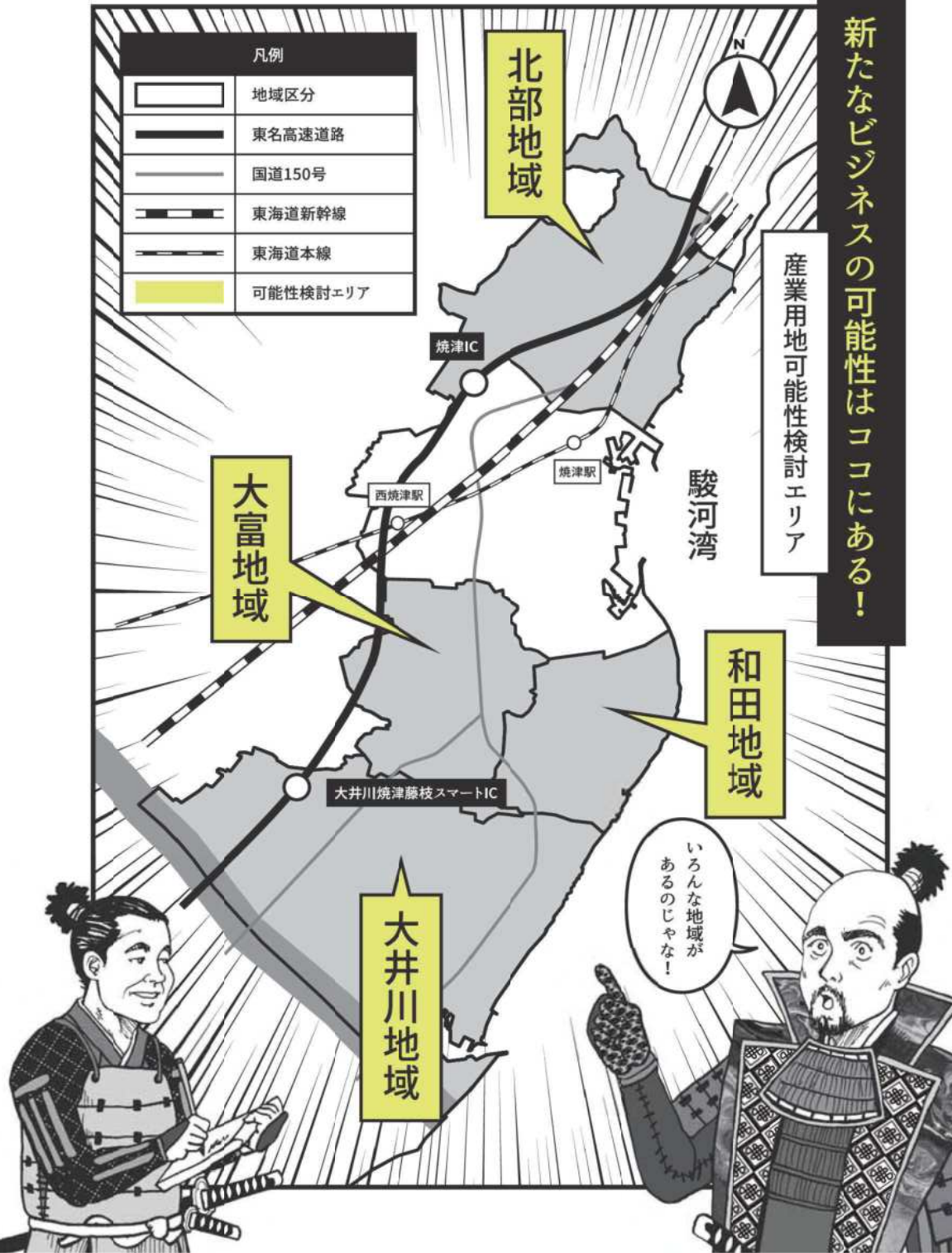
いろんな地域があるのじゃな！

北部地域

大井川地域

大富地域

凡例	
	地域区分
	東名高速道路
	国道150号
	東海道新幹線
	東海道本線
	可能性検討エリア



北部地域

北部地域は、焼津ICや国道等の幹線道路による高い交通利便性、既存産業の集積状況、日本坂PAの立地などを活かした産業誘致と既存企業の拡張等を進めるエリアとします。

誘致する業種

- 製造業
- 研究所等
- 物流施設
- 観光施設



和田地域

和田地域は、焼津漁港と大井川港に近傍し、幹線道路の整備によりアクセスの向上が期待される地域で、既存産業の集積や工業団地も立地していることから、既存の工業団地等の拡張等や既存産業と関連した産業誘致と既存企業の拡張等を進めるエリアとします。

誘致する業種

- 製造業
- 研究所等
- 物流施設
- 観光施設



大富地域

大富地域は、高い交通利便性、公共施設・大学・大型商業施設等が立地する良好な住環境などを活かし、住環境と調和した産業誘致と既存企業の拡張等を進めるエリアとします。

誘致する業種

- 製造業
- 研究所等
- 物流施設
- 観光施設



大井川地域

大井川地域は、大井川焼津藤枝スマートIC、国道等の幹線道路や石油等の出荷基地となる大井川港等による高い交通利便性、富士山静岡空港への近接性や恵まれた大井川の伏流水である地下水を活かした産業誘致と既存企業の拡張等を進めるエリアとします。

誘致する業種

- 製造業
- 研究所等
- 物流施設
- 観光施設



製造品出荷額

6,199 億円

※県内10位、全国111位 食品のみの場合 県内1位、全国4位

市章



事業所数

6,094 事業所

※1

全国 8年連続 1位

1509 億円

水揚げ金額



※3

温泉施設数

11 施設

温泉総選挙
リフレックス部門

1 位

5年連続



※3

学校数

32 校



※1

小学校	13校	専修学校	1校(市内)
中学校	9校	高等専門学校	1校(近隣)
高等学校	4校(県立3校、私立1校)	大学	4校(市内1校、近隣3校)

※1 小学校は市内2校、近隣1校、専修学校は市内1校、近隣1校、高等専門学校は市内1校、近隣1校、大学は市内1校、近隣3校

シンボル(魚河岸)





面積

70.30 km²

※1

人口

約14 万人

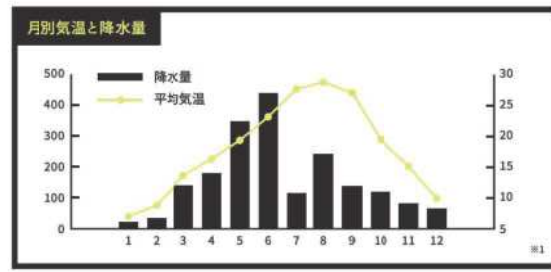
※1

人口密度

1,946 人/km²

(市の中で) 県内1位

※1



年間平均気温

18.0℃

※雪は減多に降りません。

※1

ふるさと納税寄附額

106億8千万

県内1位

港の数

3 港

焼津漁港
小川漁港
大井川港

※2

移住・定住の補助金と取組

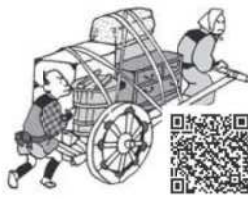
焼津市子育て世帯等定住促進住宅取得支援事業補助金

未就学児のいる世帯等が焼津市内で新築住宅を取得した場合に、取得費用の一部を補助します。土地・住宅取得費から1,500万円を控除した金額の10%、最大100万円を補助します。




焼津市移住・就業支援金

世帯移住100万円、単身移住60万円を補助します。世帯移住で、18歳未満の子どもがいる場合100万円が加算されます。




移住相談窓口の設置

焼津市への移住に関する情報の提供や相談・支援専用の窓口を開設しています。また焼津市を訪ねることは難しい方向けに「オンライン移住相談」も実施中です。

【相談方法】
電話 F.A.S. または窓口へ直接お越しください。




スタートアップ企業支援






焼津PORTERS

事業名	概要	補助金額	対象経費
焼津市サテライトオフィス等設置事業費補助金	サテライトオフィス等を設置する事業者への支援	最大100万円	施設・通信整備費 什器等導入費等
焼津市スタートアップ拠点開設支援補助金	拠点開設をするスタートアップ企業の施設整備を支援	最大250万円	施設整備費 その他経費
焼津市中小企業等DX促進モデル事業補助金	産業振興等を図るためのDX促進モデルを支援	最大250万円	設備品費 その他経費

焼津PORTERSとは漁具倉庫をリノベーションした多目的施設。コワーキングスペースとして、イベントスペースとしてなどさまざまなシーンで活用できます。

「新たな交流の場を生み出す場」へ、水産業と食産業とのコラボレーションを促進させる場、歴史と文化を継承しつつ新たな港町のモデルとなる場、「チャレンジし続ける人々が集う場」として、焼津内港地区の中核を担ってまいります。

企業誘致の補助金と取組

静岡県新規産業立地事業費補助金

静岡県内に製造工場や研究所などを新規に設置した企業の建物・機械の設備投資費に対し、最大10億円を補助します。




焼津市産業立地促進事業費補助金

焼津市内に製造工場や研究所などを新設・増設した企業の用地取得費と新規雇用者に対し、最大3億円を補助します。




焼津市立地工場等事業継続強化事業費補助金

事業継続計画に基づき、焼津市内に工場などを移転・分散した企業の用地取得費と新規雇用者に対し、最大2億円を補助します。




焼津市産業立地奨励事業費補助金

焼津市内に製造工場や研究所などを新設・増設した企業に対し、固定資産税相当額を最大3,000万円×3年間を補助します。




企業立地ワンストップ窓口サービス

焼津市では、市内へ新たに進出または、市内の工場などを拡張する場合、申請や手続きなどを相談できる「ワンストップ窓口サービス」を実施しています。




空き用地等物件情報の提供

市内事業者などが所有する空き用地等の物件について、売却、賃貸に係る諸条件を登録した情報提供をしています。




港町やいづ企業応援調査団

市内企業等の現状や新たな課題、将来に向けての考え方、ニーズなどを把握するために、順次訪問を行っています。